

珍しい冷泉の間欠泉

## 草間の間歇冷泉



指定区分	国指定天然記念物
読みかた	くさまのかんけつれいせん
所在地	新見市草間
指定年月日	昭和5年8月25日
解説	高梁川支流の佐伏川沿いの石灰岩の岩壁から少量の水が噴き出しているが、約6時間おきに普段の10～15倍の水が噴き出し、約50分で元に戻る。このような間歇泉のほとんどは温泉であり、冷泉であるのは珍しい。
アクセス方法	JR伯備線新見駅から車で約30分
公開状況	自由
設備	
備考	

## きつずページ



していくぶん (指定区分)	国指定天然記念物
ぶんかざいめい (文化財名)	草間の間歇冷泉
よみかた	くさまのかんけつれいせん
しょざいち (所在地)	新見市草間
していしたひ (指定した日)	昭和5年8月25日
せつめい	普段(ふだん)は岩壁(いわかべ)から少す づつ水がわき出ているのですが、およそ6 時間ごとに普段の10倍から15倍ほどの水 が噴き出すところです。およそ50分で元 にもどります。このような間欠泉(かんけつ せん)はほとんどが温泉(おんせん)ですが、 冷泉(れいせん)であるのはめずらしいで す。